

# II 文化・学習

心豊かな人を育み、しずおか文化を創造するまち



長寿社会の出現と社会の複雑化などにもない、学校教育だけにとどまらない生涯を通じての学習がますます必要になってきています。

一方で、地域社会には様々な分野において多様な能力と学習意欲をもつ広範な市民層が存在しており、地域社会における多くの課題の発生とあいまって、互いに学び合いその成果をまちづくりに活用していくという生涯学習の意義がさらに高まってきています。

市は、すべての市民がもてる能力を十分発揮できるような環境整備をすすめるとともに、学習によって得た成果を、個人にとどまらず、まちづくりにも活かしていくことができるようなしくみをつくっていきます。

生涯にわたる学習を通じ、高まっていく一人ひとりの意識や知識が、個人レベルからまちの文化へと昇華されていくためには、歴史と文化を伝承し、地域文化とのさらなる融合をはかり、新たな「しずおか文化」を創造するとともに、それを全国へ世界へと発信できるようレベルアップをはかっていきます。

次代を担う青少年や子どもたちの育成のために、家庭、地域、学校間の連携と協力により、総合的に教育力を高め、やさしさや創造性を指向する教育を推進するとともに、情報化や少子化など時代変化に対応した教育環境をハード、ソフトの両面にわたって整備していきます。

また、健やかな心と身体をつちかい、生涯健康であり続けるためのスポーツ・レクリエーションについても、環境づくりをすすめていきます。

## 政策の体系



文化・学習

- 1 **生涯学習の推進とまちづくりへの参加**
  - 自ら学び、互いに高めあう学習システムの構築
  - 学びの成果の活用とまちづくりへの参加
- 2 **多彩な文化の継承と独自文化の創造**
  - しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承
  - 地域性豊かな市民文化の創造
  - しずおか文化の発信と交流
- 3 **次代を担う人材の育成と環境の整備**
  - やさしさと創造性あふれる子どもたちを育成する教育の推進
  - 家庭、地域、学校の連携・交流の推進
  - 社会情勢に対応した教育環境の整備と活用
- 4 **健やかな心と身体をつちかうスポーツ・レクリエーションの推進**
  - 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
  - 全国に誇るスポーツの育成、強化
  - スポーツ・レクリエーション環境の整備





## ◆動向と課題……………

▶ 自らが学ぶだけでなく、学び合い、学びの成果やこれまでのキャリアを地域社会に還元したい、まちづくりに活かしたいと考えている市民が増えています。とくにこれからの5年間は、団塊の世代が退職期を迎え、職場から地域社会にもどり、自らの存立基盤を家庭や地域へと軸を移していくこととなります。

このようなニーズに応えるシステムを整備、支援していく必要があります。

▶ 本市には、長い歴史や伝統を背景に独自のすぐれた地域文化が蓄積しています。

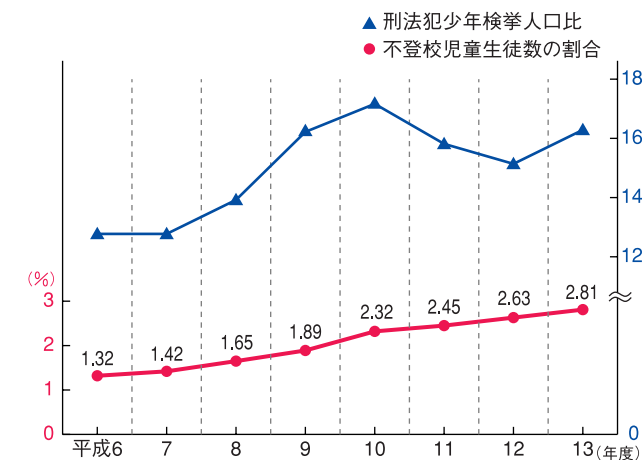
今後、これらの文化のさらなる振興をはかり、相互に刺激し合うことにより、全国、世界にその存在を主張できる「しずおか文化」に高めていくことが求められています。

▶ 子どもたちをとりまく社会環境には、あらゆる分野で急速かつ激しい変化がおきています。

また、都市化の進展、コミュニティへの帰属意識の希薄化、核家族化、少子化などにより、子どもたちの自然体験や社会体験などの実体験が少なくなってきています。

一方、このような社会の複雑化にともない、青少年層の不登校や犯罪などが目立ってきており、総合的な対応と一人ひとりの心のケアの必要性が課題となっています。

〈不登校児童生徒数割合と刑法犯少年検挙人口比の推移〉



資料：内閣府「青少年白書」（平成15年）  
 (注)人口比とは、14歳から19歳までの少年人口1,000人当たりの検挙人員をいう。

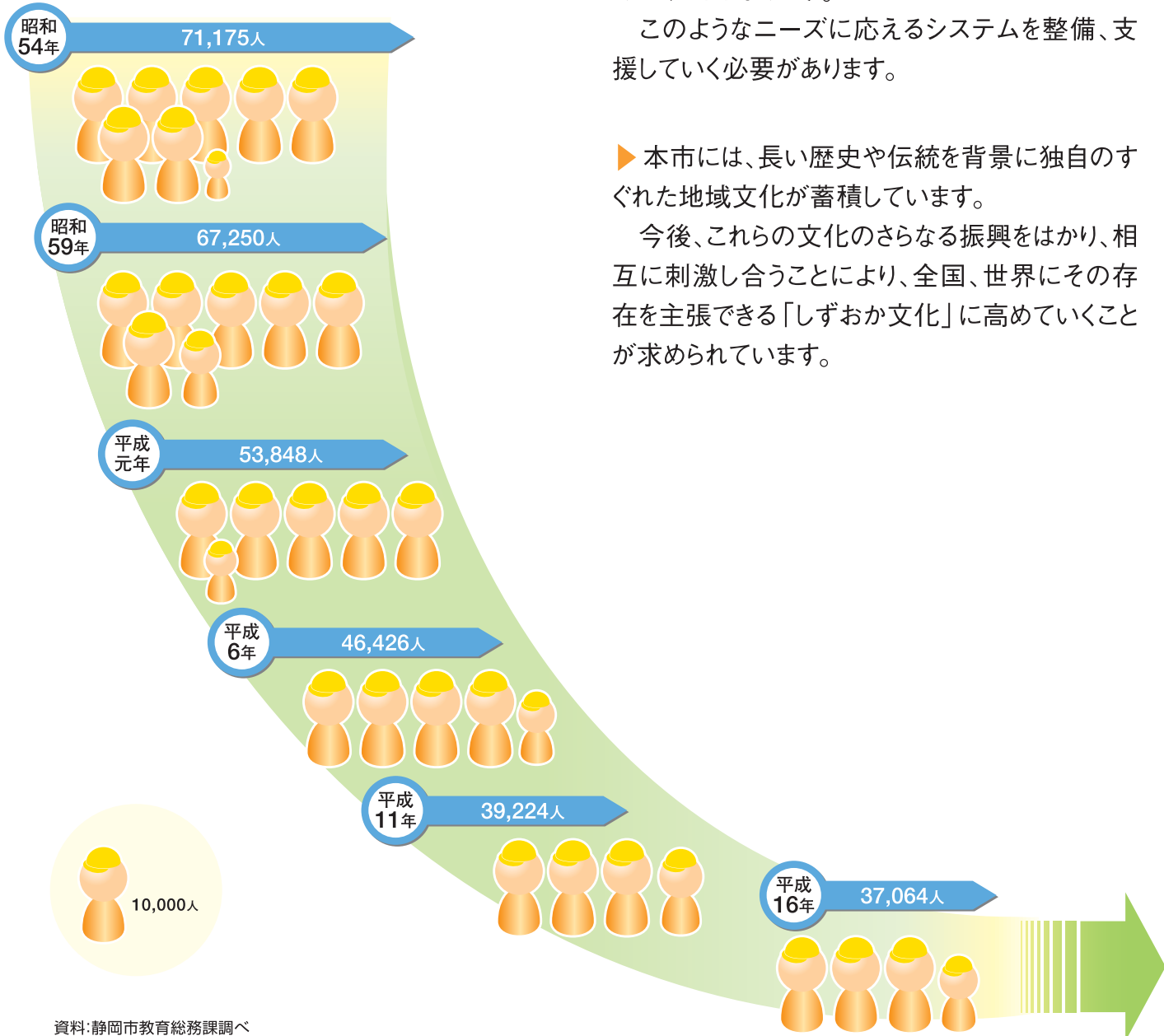
▶ 少子化にともなう児童・生徒数の減少により、学校施設には全体として余裕が出てきています。一方では、多様な教育ニーズの増大に加え、地域住民の様々な地域活動を行う拠点が求められています。

小中学校などはこれまでも地域の中心施設としての役割を果たしてきました。しかし、このような状況を踏まえ、これからは学校施設を学校教育だけでなく、利用者が自らを律し教育の場として十分尊重することにより学校の安全性を確保しつつ、地域が有効に使うことができるように一層の転換をはかっていくことが重要になってきます。

▶ 余暇時間の増大や健康意識の高まりにより、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ人々が増えています。

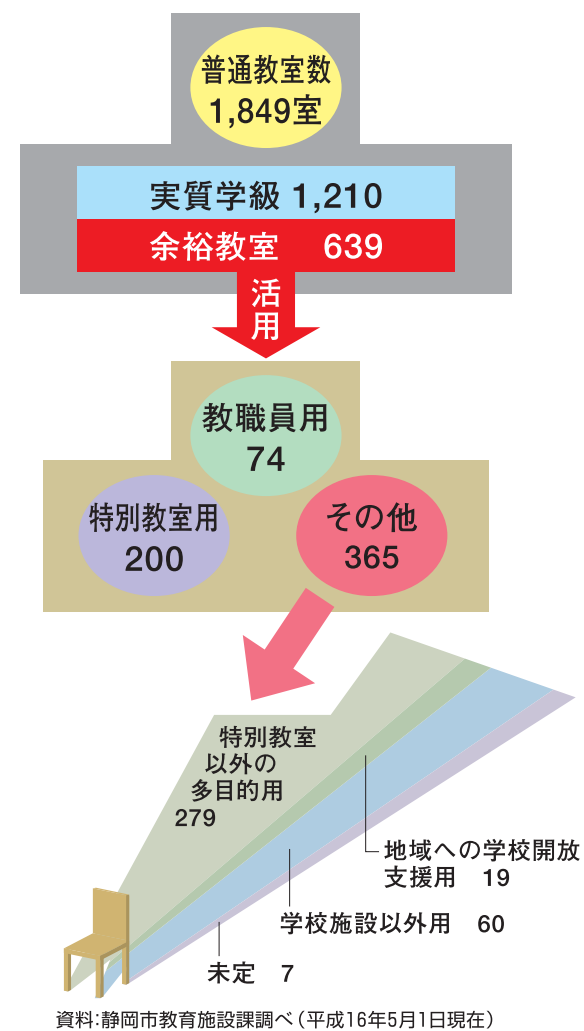
一人ひとりの体力や興味に合わせて気軽にスポーツ・レクリエーション活動を行い、仲間との交流や健康づくりに親しむ環境づくりが必要となっています。

〈小学校児童数の推移〉



資料：静岡市教育総務課調べ

〈小学校の余裕教室の活用状況〉



資料：静岡市教育施設課調べ（平成16年5月1日現在）